

第64回卒業40周年記念同期会

平成27年10月31日（土）に第64回卒業同期会が飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催されました。今年は卒業40周年を記念して「卒業40周年記念ディナーコンサート」と銘打っての催しで、出席者は全国からご夫人を含め64名にもなり、奇しくも卒業回数と同じ数字で、佳節を祝うにふさわしく盛会に行われました。

浦部吉広君の司会で始まった総会は、二年前の同期会からこの間に亡くなられた2名を加え、32名の物故者に対して黙祷が捧げられました。次に群馬県幹事代表より開催の主旨と出席へのお礼の挨拶、藤野一博君の本部報告、宍倉邦明君より前回開催会計報告があり、最後に次期開催地長野県の中島真里子さんから開催予定の報告で終了しました。

写真撮影後に懇親会に移り、ご多忙にもかかわらず来賓としてご出席をいただいた中原 泉 理事長・学長・校友会会頭はご挨拶の中で、「私は54回卒業で、“花の54回卒”と言われている。だいふ年をとったので10年若い64回卒業生に冠を譲り、“花の64回卒”として活躍してもらいたい」と述べられた。続いてご挨拶に立たれた近藤勝洪校友会会長も、中原学長のご挨拶に呼応して「私も中原理事長・学長と同じく54回卒業で、高齢になり老い花になってしまった。“花の54回卒”は似つかわしくなくなったので、64回卒に譲ってもよい」と述べられた。お二人の来賓の先生にお許し

をいただいたので、これからは“花の64回卒”と呼んでよいことになり、出席者から歓声が上がりました。その後に、新潟生命歯学部長の関本恒夫君の乾杯の音頭で宴会が始まりました。

料理はフランス料理のフルコース、卒業して40年が経過し、白髪混じりになったり、薄くなったり、体型もすっかり変わっていたりで、たいして飲まないだろうと高をくくっていましたが、宴が進むにつれて昔話に大いに盛り上がり、お酒もすすみ急遽飲み放題に変更してもらうことになるほどでした。

午後8時より、群馬県出身で、国内はもちろん数度の海外公演も経験し、今や世界的なミュージシャンとなった「ドンアルマス」による「卒業40周年記念ディナーコンサート」に移りました。フラメンコギターとパーカッションの躍動感に満ちた演奏に時の経つのも忘れ、酔いしれた懇親会も新潟短期大学学長、生命歯学部口腔外科学講座教授の又賀 泉 君の閉会の挨拶でお開きになりました。

ほぼ全員が前期高齢者の仲間入りした我々にとって、後期高齢を迎える75歳までの10年間は人生で一番厳しい、まさに胸突八丁を迎える訳ですが、卒業50周年まで全員が欠けることなく乗り越えることを誓い合いながら、二年後の再開を約束し散会しました。

（40周年記念会幹事・奥山文雄 記）



第64回卒業40周年記念同期会 平成27年10月31日 於 ホテルメトロポリタンエドモント